

MICRO GRAST

「小さなレシーバ」

PCに挿したままでも邪魔にならない

ワイヤレス マイクロレシーバ レーザーマウス

M-PGDL シリーズ ユーザズマニュアル

このたびは、エレコム ワイヤレス マイクロレシーバ レーザーマウス "M-PGDL" シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは "M-PGDL" シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて "M-PGDL" シリーズを「本製品」と表記しています。

安全にお使いいただくために

■絵表示の意味

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
		「してはいけない」ことを示します。
		「しなければならないこと」を示します。
		「注意していただきたいこと」を記載しています。
		「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
		「知っていると便利なこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
	注意	本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後で、レシーバユニットをパソコンから取り外し、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

	警告	本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外となります。
		本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
		レシーバユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

	注意	本製品を次のようなところには置かないでください。 ●日のあたる自動車内、直射日光のあたる場所 ●暖房器具の周辺など高温になる場所 ●多湿なところ、結露をおこすところ ●平坦でないところ、振動が発生するところ ●マグネットの近くなどの磁場が発生するところ ●ほこりの多いところ
		本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

	本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
--	---

■電池について

	注意	本製品には単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形マンガン乾電池、単 4 形オキシライド乾電池、または単 4 形ニッケル水素電池を使用してください。
		本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

	シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。
--	---

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には DS-SS 方式を採用し、与干渉距離は 10m です。
2.4GHz 帯は、医療機器や Bluetooth、IEEE802.11b/g 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
●本製品を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
●万一、本製品と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
※「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

	警告	●重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。 ●病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。 ●航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
--	-----------	--

レーザーマウスにおける注意事項

本製品は、JIS C6802 及び国際標準化機関 IEC60825-1 に基づいた CLASS1 に準拠し、安全性を確保しておりますが、下記事項に十分注意した上でご使用下さい。

- 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対におやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります)
- マウスの裏面を人の目に向ける事は危険ですのでおやめください。
- レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
- パソコン用マウス以外の用途に使用しないでください。
- 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
- 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

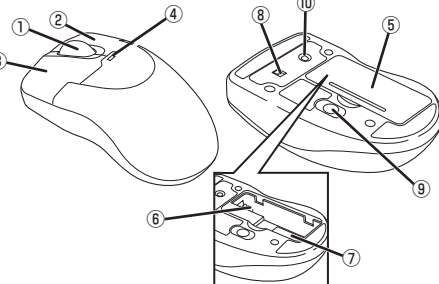
パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体.....1 個
- レシーバユニット.....1 個
- 動作確認用単 4 形アルカリ乾電池.....1 本
- 専用ポーチ.....1 個
- ユーザズマニュアル(このマニュアルです).....1 部

各部の名称とはたらき

■マウス本体



■レシーバユニット

- チルトホイール**
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。チルトホイールを左右に倒すことで左右方向へのスクロールができるようになります。
- Windows で左右スクロール機能を使用するためには、弊社 web サイトよりエレコム マウスアシスタント Windows 版を入手して、インストールする必要があります。**
☞「左右スクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」(裏面)

使用時の準備

電池を入れる / 交換する

本製品を使用するときは、単 4 形電池 1 本をマウス本体に入れます。

- 電池カバーを取り外します。
①の部分で少し強く右に押すと、簡単に取り外せます。
- 電池を入れます。
●電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。手前がプラス⊕です。
- 電池カバーを元通りに取り付けます。

マウス本体の電源を入(ON)/切(OFF)する

■マウス本体の電源を入れる
本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。電池残量表示ランプが、一定時間赤く点灯します。※電池容量が少ないときは、一定時間赤く点滅します。

■マウス本体の電源を切る

本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。

■スリープ状態から復帰する

マウスの右ボタンをクリックします。

- 電池の消耗を抑えるため、電源がスイッチが ON の状態で操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的にスリープモードに移行します。

- 右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使用します。
- 左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使用します。
- 電池残量表示ランプ**
電池の交換時期をお知らせします。
※電源を入れたとき、電池残量が十分あれば一定時間赤く点灯し、少なければ点滅します。使用中に電池残量が少なくなると一定時間赤く点滅します。
- 電池カバー**
このカバーを取り外して、電池を入れます。
- 電池収納部**
電池を収納します。
- レシーバユニット収納部**
レシーバユニットを収納します。
- 電源スイッチ**
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- レーザーセンサー**
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
- メンテナンススイッチ**
工場出荷用のため、使用できません。
- USB コネクタ(オス)**
パソコンの USB ポートに接続します。

レシーバユニットを収納する / 取り出す

■レシーバユニットを収納する

- 電池カバーを取り外します。
- レシーバユニットをレシーバユニット収納部に収納します。
- 電池カバーを元通りに取り付けます。

■レシーバユニットを取り出す

- 電池カバーを取り外します。
- レシーバユニットをレシーバユニット収納部から取り出します。
- 電池カバーを元通りに取り付けます。

Windows® で使用する

Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。

- USB ポートはどのポートでも使用できます。
- USB/ハブ経由でも使用できます。ただし、USB/ハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバユニットを取り付ける

- パソコンを起動します。
●Windows® の起動時にログインするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログインしてください。
- レシーバユニットをパソコンの USB ポートに挿入します。

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
- USB コネクタの端子部には触れないでください。

- Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。

Mac OS X で使用する

Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。

- USB ポートはどのポートでも使用できます。
- USB/ハブ経由でも使用できます。ただし、USB/ハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバユニットを取り付け

- パソコンを起動します。
●Macintosh が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
- レシーバユニットを Macintosh の USB ポートに挿入します。

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
- USB コネクタの端子部には触れないでください。

- ドライバが自動的にインストールされます。

Step3 動作を確認する

Mac OS X に付属の「Safari」でマウスの上下左右のスクロールが正常に動作しているかを確認します。

Step3 ホイールの動作を確認する

Windows® の「Internet Explorer」でマウスの上下スクロールが正常に動作しているかを確認します。

- [スタート] ボタンから[すべてのプログラム] - 「Internet Explorer」の順にクリックします。「Internet Explorer」が起動します。
- Internet Explorer で好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。

- マウスのチルトホイールを前後に動かします。

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

本製品のチルトホイールで、左右方向のスクロール機能を利用するには、弊社 web サイトよりエレコム マウスアシスタント Windows 版を入手してインストールする必要があります。
☞裏面の「左右スクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」に進みください。

- Dock に登録されている「Safari」のアイコンをクリックします。「Safari」が起動します。

- Safari が Dock に登録されていない場合は、「アプリケーション」フォルダ内の「Safari」をダブルクリックします。

- Safari で好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下左右のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。

- マウスのチルトホイールを前後に動かします。

- マウスのチルトホイールを左右に倒します。

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。
- Macintosh でボタン割り当て機能を使用するには弊社 web サイトよりエレコム マウスアシスタント Mac OS X 版を入手してインストールする必要があります。
- ☞裏面の「左右スクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」に進みください。

左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する

左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用するには、エレコム マウスアシスタントをインストールする必要があります。

エレコム マウスアシスタントを入手する

エレコム マウスアシスタントを入手するには下記の弊社 WEB サイトにアクセスし、最新版ドライバをダウンロードして下さい。

<http://www.elecom.co.jp/support/download/peripheral/mouse/m-pgdl/>

エレコム マウスアシスタント Windows 版をインストールする

- インストールする前に・・・
- ・レシーバユニットを取り付けておいてください。詳細は、「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)を参照してください。
 - ・当社・他社のマウスユーティリティソフトがインストールされている場合は、アンインストールを行ってください。
 - ・管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。
 - ・すべての Windows® プログラム(アプリケーションソフト)を終了することを推奨します。

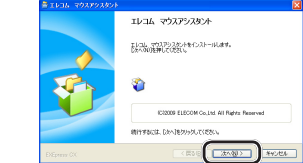
※以降のインストールプログラムの画面は OS によって異なりますが、手順は同じです。

1. ダウンロードした「mouse_driver_xxxx(.exe)」をダブルクリックします。
※ドライバのバージョンによりファイル名称が異なる場合があります。

2. インストーラが起動します。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[許可]または[続行]をクリックします。

3. 「次へ(N) >」をクリックします。

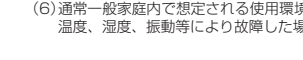
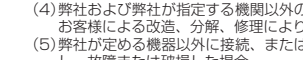
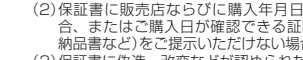
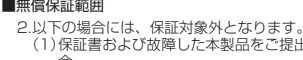
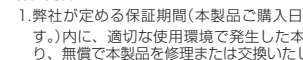


4. 「OK」をクリックします。



ELECOM MOUSE DRIVERおよびELECOM M-LS3UR Tilt Driver がインストールされている場合は、**キャンセル** をクリックしアンインストールを行ってください。

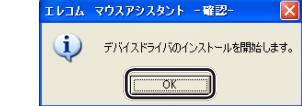
5. 「次へ(N) >」をクリックします。



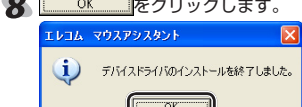
6. 「インストール」をクリックします。



7. 「OK」をクリックします。



8. 「OK」をクリックします。



9. インストールが終了したら、**完了** をクリックして、パソコンを再起動します。



これでエレコム マウスアシスタント Windows 版のインストールは完了です。

- ※再起動後、マウスの設定ができます。タスクトレイまたは通知領域の  アイコンを右クリックして[プロパティ]をクリックします。
※ Windows® 7 で通知領域に  が表示されている場合は、**上** をクリックして  アイコンを右クリックし、「[プロパティ]」をクリックします。
※設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

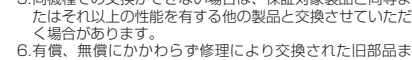
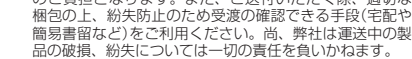
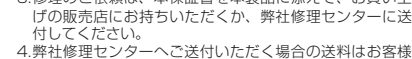
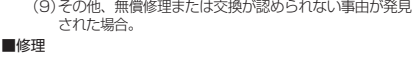
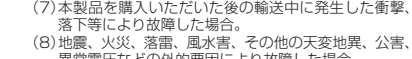
エレコム マウスアシスタント Mac OS X 版をインストールする

- インストールする前に・・・
- ・レシーバユニットを取り付けておいてください。詳細は、「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)を参照してください。
 - ・当社・他社のマウスユーティリティソフトがインストールされている場合は、アンインストールを行ってください。
 - ・管理者権限を持つユーザーアカウントでログインしてください。
 - ・すべてのプログラム(アプリケーションソフト)を終了することを推奨します。

1. ダウンロードした「ELECOM_Mouse_Installer_X.X.X.X.dmg」をダブルクリックします。

デスクトップにディスクイメージがマウントされ、ウインドウが表示されます。

※ドライバのバージョンによりファイル名称が異なる場合があります。



■修理

3. 修理のご依頼は、本保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができる場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品は

2. 「ELECOM_Mouse_Installer_x.x.x.x」をダブルクリックします。
インストーラが起動します。



3. 「続ける」をクリックします。



4. 「インストール」をクリックします。



5. 管理者のユーザー名とパスワードを入力して、**OK** をクリックします。

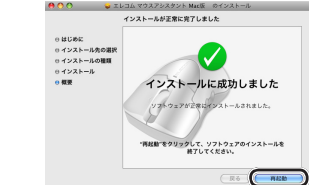


6. 「インストールを続ける」をクリックします。



ファイルのコピーが始まります。

7. インストールが終了したら、**再起動** をクリックして、Macintosh を再起動します。



これでエレコム マウスアシスタント Mac OS X 版のインストールは完了です。

- ※再起動後、マウスの設定ができます。Dock に登録されている  アイコンをクリックすると、ユーティリティが起動します。(インストールしたユーザーのみ Dock に  アイコンが登録されています。インストールしたユーザーでない場合は、「移動」→「ユーティリティ」内の「ELECOM_Mouse_Util」をダブルクリックします。)
- ・設定方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

■免責事項

- 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

- 使用している場所の光の反射率がレーザーマウスに適していない可能性があります。レーザーマウスに対応したマウスパッドの上で本製品を使用してください。
- スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、マウスの動作が安定するところまでレシーバユニットをマウスに近づけてください。

- レシーバユニットがパソコン本体などの USB ポートに正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバユニットを USB ポートから取り外して、接続し直してください。

- レシーバユニットとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整するなどしてください。

本製品の動作範囲は、レシーバユニットとマウス本体が半径 10m 以内です。使用環境によっては、約 10m の範囲内でもマウスが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、マウスをレシーバユニットに近づけてください。

- 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。(本製品同士ではチャンネル回避自動機能が動作します。)

- 電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「電池を入れる / 交換する」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。

- ・本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消耗していることがあります。

- Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、本製品が Windows® に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「不明なデバイスの削除方法」を参照し、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

- 本製品の前にお使いになっていたマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを利用していた場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。
- ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

- マウスカーソルは動くが、ホイールが動かない
- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

「不明なデバイス」の削除方法

Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

- ・「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。レシーバユニットを一度パソコンから取り外してみて、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- ・以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

①

- ・「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。レシーバユニットを一度パソコンから取り外してみて、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- ・以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

②

スタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。

コントロールパネルが表示されます。

以下のいずれかの操作を行います。

- ・Windows Vista®/Windows® 7 の場合「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

「プログラムの追加と削除」をクリックします。